

線形代数III演習

担当 丹下 基生：研究室 (B622) mail(tange@math.tsukuba.ac.jp)

第7回 ('13年2月13日：Keywords・・・線形写像、補空間、標準基底)

[標準基底] \mathbb{K}^n 上の標準基底 $\{e_i\}$ とは、 $e_i = {}^t(0, \dots, 0, 1, 0, \dots, 0)$ (i 番目の成分だけが1で他の成分は0) のことである。

[1次独立なベクトルを延長して基底を求めること] n 次元ベクトル空間 V において、1次独立なベクトル v_1, \dots, v_m をその一部にもつ基底 v_1, \dots, v_n を求める方法は次のようにすれば求まる。数ベクトル空間の場合、行列 $A = (v_1 \cdots v_m e_1 \cdots e_n)$ のrankは明らかに n である。この中から1次独立なベクトルを(簡約化を使って) v_1, \dots, v_m 以外に最大数選び出せばよい。

[線形変換] ベクトル空間 V において線形写像 $f: V \rightarrow V$ を V 上の線形変換という。

問題7-1. [1次独立なベクトルを延長すること]

- (1) n 次元ベクトル空間 V において1次独立なベクトル v_1, \dots, v_m をとる。 $m < n$ であるとき、あるベクトル $v \in V$ が存在して、 v_1, \dots, v_m, v も1次独立にできることを示せ。
- (2) v_1, \dots, v_m が(1)と同じ仮定を満たすベクトルとする。 $m < n$ であるとき、あるベクトル w_1, \dots, w_{n-m} が取れて $v_1, \dots, v_m, w_1, \dots, w_{n-m}$ が V の基底にすることができることを示せ。
- (3) \mathbb{C}^3 上で、ベクトル $v_1 = {}^t(1, 1, -1), v_2 = {}^t(0, 1, -1)$ をとる。このとき、あるベクトル v で v_1, v_2, v が \mathbb{C}^3 の基底となるものを構成せよ。
- (4) $V = \mathbb{C}[X]_3$ において、1次独立なベクトル $\{1 + X + X^2 + X^3, X + X^2\}$ を延長して V 上で基底を構成せよ。
- (5) 教科書系 6.11 の逆が成り立たないことを示せ。つまり $\dim(W_1) + \dim(W_2) = \dim(W)$ であるからといって $W = W_1 \oplus W_2$ となるとは限らないことを示せ。

問題7-2. [代入操作]

- (1) a を任意の複素数として、 $\varphi_{n,a}: \mathbb{C}[X]_n \rightarrow \mathbb{C}$ を $f(X) \rightarrow f(a)$ とする。この写像は線形写像であるか? もしそうなら $\text{Ker}(\varphi_{2,1})$ を求め、その基底と次元を求めよ。
- (2) ω を1の3乗根 $\cos(\frac{2\pi}{3}) + \sqrt{-1} \sin(\frac{2\pi}{3})$ とすると、 $\mathbb{R}[\omega]$ は $\mathbb{R}[X]_1$ と線形同型であることを示せ。

問題7-3. [全射な線形写像]

- (1) $f: V \rightarrow W$ を全射な線形写像とする。 w_1, \dots, w_n を W の基底とする。 v_i を $f(v_i) = w_i$ となる V のベクトルとする。このとき、 v_1, \dots, v_n は V で1次独立であることを示せ。
- (2) $f: V \rightarrow W$ を全射な線形写像とする。このとき、 $\dim W \leq \dim V$ が成り立つことを示せ。

問題7-4. [数ベクトル空間上の線形写像]

- (1) 数ベクトル空間上の任意の線形写像 $f: \mathbb{C}^n \rightarrow \mathbb{C}^m$ はある $m \times n$ 行列 A を左から掛けることで得られることを示せ。つまり、 $f(x) = Ax$ と書ける。
- (2) \mathbb{C}^n 上の標準基底を $\{e_i\}$ とする。今、 \mathbb{C}^n 上の線形変換 f が、 $f(e_1 + e_2) = e_1, f(e_{i-1} + e_i + e_{i+1}) = e_i$ ($i = 2, \dots, n-1$), $f(e_{n-1} + e_n) = e_n$ となるものとする。この線形変換 f に対して(1)における行列 A を求めよ。

課題 7-1.[表現行列への導入]

(1) $f: \mathbb{C}^2 \rightarrow \mathbb{C}^2$ を以下を満たすような線形写像とする .

$$f(\mathbf{e}_1 + 2\mathbf{e}_2) = \mathbf{e}_1 + \mathbf{e}_2, f(3\mathbf{e}_1 + 4\mathbf{e}_2) = \mathbf{e}_2$$

このとき、 f はどのような行列の左からの積として表せるか . ただし、 $\{\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2\}$ は \mathbb{C}^2 の標準基底とする .

(2) $\{\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3\}$ を \mathbb{C}^3 上の標準基底とする . 線形写像 $\varphi: \mathbb{C}^3 \rightarrow \mathbb{C}[X]_2$ を $\varphi(\mathbf{e}_i) = X^{i-1}$ として定義する . φ は同型写像であることを示せ .

(3) $\partial_X: \mathbb{C}[X]_2 \rightarrow \mathbb{C}[X]_2$ を X に関する微分が与える写像とする (つまり、 $\partial_X(f(X)) = \frac{df(X)}{dX}$.) 今、(2) の同型写像 $\varphi: \mathbb{C}^3 \rightarrow \mathbb{C}[X]_2$ を用いて、線形写像 D を $\varphi^{-1} \circ \partial_X \circ \varphi$ と定義する . このとき、 D は線形写像 $\mathbb{C}^3 \rightarrow \mathbb{C}^3$ を与える . $D: \mathbf{x} \mapsto A\mathbf{x}$ となる行列 A を求めよ .

課題 7-2.[線形写像が単射であるための条件]

線形写像 $f: V \rightarrow W$ が単射であることと $f(\mathbf{x}) = \mathbf{0} \Rightarrow \mathbf{x} = \mathbf{0}$ であることは同値 (必要十分) であることを示せ .

これらの問題に困ったら....

(上の問題の HINT)

問題 7-1(1) 背理法 . (2) (1) を繰り返し用いてよい . (3) 上の解説を参考に求めてみよ .

(4) X^{i-1} と \mathbf{e}_i を同一視して (3) と同じ方法を用いよ . (5) 易しい . できるだけ簡単な例を見つけよ .

問題 7-2(1) 条件式から連立 1 次方程式を解け .

(2) ω が満たすできるだけ簡単な方程式から ω の多項式が ω の 1 次式まで小さくできることを示せ .

問題 7-3(1) 1 次独立の条件を満たすか? (2) (1) を用いてよい .

問題 7-4(1) $f(c_1\mathbf{e}_1 + \cdots + c_n\mathbf{e}_n)$ を計算せよ .

(2) A の第 i 列は $f(\mathbf{e}_i)$ となることを使え .

課題 7-1(1) 問題 7-4(2) の HINT と同じ方針 .

(2) 基底が基底に写っているか? そしてそれが全単射かどうか?

(3) $D(\mathbf{e}_i)$ が何に変わるか? 微分によって多項式の係数がどう変化するか?

課題 7-2 写像が単射であるとは $f(p) = f(q)$ ならば $p = q$ であることである .

それでも問題に詰まったら...

ホームページ : <http://www.math.tsukuba.ac.jp/~tange/jugyo/2012jugyo/senkei20123.html>

ツイッター : BasicMathIIB (<https://twitter.com/BasicMathIIB>)

質問等があれば気軽にメールしてください . 携帯からでも OK です .

課題の解き方の方針などホームページ上に載せることがあります .